しわネット

SHIWA-NET
http://www.town.shiwa.iwate.jp/
人と人をつなぎ地域をつなぐ広報紙

No.785
2010
2

平成22年2月10日発行
岩手県●紫波町
〒028-3392 紫波町日詰字西裏23-1
印刷・川嶋印刷株式会社

特集・南部杜氏の里の酒造り今昔・第二弾

先人の知恵を生かして新たな時代を拓く …… 03

12 責任と自覚、そして感謝!! 紫波町成人式
14 魅力あるまちを目指して～町民意識調査の結果をお知らせします～
18 冬でもどこかあったかい 紫波冬まつり
20 元気はつらつ健康メモ 「肝炎ウイルス検査」
26 新しい総合計画づくり Vol.5
28 行ってみよう!「安倍道とお寺さん その3 稱名寺(浄土宗)」

藤原孝町長が再選

一月十九日に告示された町長選挙は、候補者が現職の藤原孝氏一人であったため、無投票が確定し、同月二十四日の選挙会で当選が決定しました。その後、町選挙管理委員会から当選の告知がなされ、一月二十五日に当選証書が交付されました。任期は平成二十六年二月七日まで。藤原氏は平成十年に初当選して以来、連続四期目となります。

当選証書交付式で町選挙管理委員会の玉山貞夫委員長から当選証書を受け取る藤原孝氏

町長からのメッセージ

町政を担うにあたり

この度の紫波町長選挙改選を迎え、町政に四度にわたる参画の機会を得まして、あらためて責任の重大さを実感しております。これも町の皆さま方のご支援のたまものであり感謝申し上げます。

これまで「福祉と環境の町」を基点とし、循環型まちづくりの推進によって、物質社会から環境社会へ転換を図ってまいりました。また、現在は行政改革として、運営方針の変革に取り組み、公民連携による住民と行政が連携したまちづくりを進めております。

昨年、国政においては政権が交代し、コンクリートから人へと政治手法が変化しました。政局が安定せずにおり、それとともに経済が低迷する昨今でありますが、われわれ地方自治体としては、早急に経済対策の補正予算と平成二十二年度予算の成立を願い、町の活性化を図っていかなければなりません。

四年間の課題として、▼町民目線の対話と町民参加のまちづくり▼安全で安心して暮らせるまちづくり▼財政健全化基準のクリア▼子育て支援を充実し子どもたちの未来を見据えたまちづくり▼森林環境保全と資源回収の推進など循環型社会への取り組みの強化▼紫波中央駅前開発の推進▼食育の推進と学校給食センターの整備▼農業と商工業が連携した産業振興の推進による新たな雇用の確保▼盛岡広域としての地域医療のあり方▼小学校の英語教育拡充や学校・公民館・総合運動公園の計画的な整備、これらを念頭に置き、公民連携手法によって町の活性に寄与し、元気あふれる紫波町を目指して頑張ってまいります。

今、町が大きく発展しようとしております。町民一人一人が「大志（注）」を抱いて充実感を感じられる町を目指し、全身全霊を尽くしてまいります。皆さまのご指導とご鞭撻（べんたつ）をよろしくお願いいたします。

藤原　孝

（注）「少年よ大志を抱け」＝「若者たちよ大きな志を持て、将来の希望は雄大である」と札幌農学校（現在の北海道大学）の教頭でアメリカ人のウィリアム・スミス・クラーク博士が明治十年に学校を去るに当たって学生たちに残した言葉。

地域をつなぐ

地域の元気を創るために、
地域の皆さんと町が協働で
取り組む活動を紹介します。

特集

南部杜氏の酒造り今昔

第二弾

先人の知恵を生かして新たな時代を拓く

南部杜氏発祥の地である町には、
伝統の酒造りを守り続ける
４つの蔵元があります。
時代の変遷を経てもなお
酒造りにかける情熱は
衰えることなく脈々と息づき、
先人の知恵と技を受け継ぎながら
新たな時代を切り拓こうと
日々研鑽に努めています。
４つの蔵元を訪ねて
酒造りの今をお聞きしました。

高橋酒造店

南部杜氏の伝統を守り育む風土

今もなお慕われる酒造り集団

昭和三十六年当時の資料（南部杜氏協会名簿ほか）によると、全国の〝酒造り出稼ぎ労働者〟の出身地の中で最も多くの人を輩出しているのは紫波町と記録されています。

当時、県内総員約三千五百人の内、町出身者が約四割の約千三百人を占めていました。出稼ぎ先は東北・北海道はもちろん、四国・山陰地方にまで及んでおり、背景には他県杜氏の減衰があったと言われています。

現在でも南部杜氏の伝統は守られ、酒造り集団としての出稼ぎは続いています。農業経営の形態が変化し、少子高齢社会の影響もあって、出稼ぎ者数は減少していますが、町が南部杜氏発祥の地であることに変わりはなく、その優れた技と誠実謙虚な人柄は、全国の多くの蔵元に慕われ続けています。

伝統を生かす水・米・技

南部杜氏たちが全国に進出している一方、町で酒造りを守り続けている人たちがいます。町内にある地酒銘柄「吾妻嶺」「月の輪」「廣喜」「堀の井」（五十音順）を造る酒蔵四社です。世代を超えて愛され、南部杜氏発祥の地としての伝統と文化を今日に伝えています。

南部杜氏という匠の技を受け継ぎ、酒造り文化の伝統を今日まで守り続けた蔵人たち、そこには「伝統を生かす人の技」と「熱意」と「ふるさとの豊かな自然があった」と言うことができるでしょう。

清らかな〝水〟、丹精込めた〝米〟、酒造りに情熱を傾ける、優れた蔵人たちの〝技〟が無ければ、美酒は生まれなかったはずです。

今月は酒造りの作業風景を交えて、蔵元や日本酒愛好者、蔵元を支える人たちなどを紹介します。

Close-Up

生涯現役をめざして 常に最前線にいる心意気

杜氏　鷹木祐助さん 紫波町杜氏連合会会長
株式会社　矢尾本店（埼玉県秩父市）

二十歳代の後半だったでしょうか、自分の進む道に疑問を持ちはじめていたころ、父親から酒造りをしてみないかと声がかかりました。杜氏になるには早くても十年かかると言われた時代です。また、杜氏になるには数学の素養や細やかな配慮がなければ勤まらないとも聞いていました。幸いというのでしょうかわたしは若いころから数学が好きで、高校を卒業してからも好きな分野の勉強は続けていました。細やかな心配りができたかどうかは定かではありませんが、南部杜氏協会の理事をしていた父親の紹介で、宮城県の造り酒屋に出向いたのが本格的な酒造りの始まりです。三十歳になっていました。人には、自分自身の人生を見極めるときがあると思いますが、わたしにとって人生の大転換期だったと思います。

南部杜氏の伝統とは何かを考えてみると、わたしは究極には人だと思っています。南部杜氏が全国に名を知らしめている最大の要因には、勤勉とまじめさと、それらに支えられた優れた技にあると思っています。さらに加えるとしたら、南部杜氏という酒造り集団の結束の固さがあるでしょう。やむなき時代のすう勢から昭和四十年代以降は減少傾向にある南部杜氏ですが、酒造りに寄せる情熱は衰えていないと信じています。

わたし自身のことを言えば、四十歳で最高の感激に出会ったことが人生の財産になっています。丹精込めて取り組んだ酒造りの最終工程、仕込みで酒を搾ったとき、それまでには経験しなかった最高の酒が出来上がっていたのです。酒造りの喜びとは、自分の経験したことから始まるのだと痛感しました。わたしは、常に動いているのが性分にあっているようで、何事も自分でアイデアをもって取り組んでいきたいと考えています。不作の年も同じ味、品格を出す先人杜氏の〝技〟のすごさに学びながら、生涯現役をめざして、常に最前線にいる心意気を大切にしたいと思います。

鷹木杜氏さんは、「平成20年・全国新酒鑑評会」において7年連続「金賞」受賞の偉業を達成しています（株式会社矢尾本店 「秩父錦」）。平成21年3月には、埼玉県秩父市より優れた技能を讃えて「秩父市優秀産業技術者技能者」として表彰されています。

日本酒造りの主な流れ

酒造りに必要な主な原料は、米、麹、酵母、水です。米のでんぷんを麹菌が糖に変え、その糖を酵母がアルコールに分解し酒が生まれます。酒造りの工程のすべてにかかわり指示を出しているのが杜氏です。

精 米

玄米の外側を削って白米にします。このとき削って残した白い部分（心白）の割合（精米歩合）によって、造られる酒の種類や名称が異なります。

洗 米

精米を終えた米を専用の機械を使って洗い、ぬかやゴミを取り除きます。

蒸 米

白米を水につけて吸水させた後、水切りをして、蒸気で蒸します。蒸すことで、白米のでんぷん質を糖に変化しやすくします。

放 冷

蒸した白米を放冷機にうつして、かたまりをほぐしながら適度な温度になるまで冷まします。

麹造り

適温になった蒸米に麹菌（種麹）をふりかけ、麹の繁殖に適した麹室に入れて、温度と湿度を管理します。

酒母造り

麹によって糖に変わった蒸米をアルコールに変えるために、酵母、水を混ぜて、酒母を造ります。

仕込み

酒母に、麹、蒸米、水などを加えてアルコールの育成を待ちます。酒の「もろみ」を造る工程です。

発 酵

「もろみ」の均一な発酵をうながすために、何度も櫂入れを行います。

搾り（上槽）

発酵を終えた「もろみ」を搾り、清酒と酒かすに分離します。

ろ過・熟成

搾り終えた清酒は、ろ過を行い、雑菌を取り除き、発酵を止めるために低温熱処理（火入れ）を行います。アルコールの調整のために水を加え、熟成を待ちます。

瓶詰め・出荷

適度に熟成した清酒から順次瓶詰めを行い出荷となります。

蔵元訪問～未来をみつめる銘醸の今

南部杜氏の伝統を守り伝える町内４つの蔵元を訪ねて、伝統文化を守りながら新しい時代を拓く試みを続ける蔵元の熱い思いをお聞きしました。そして日本酒を楽しむ秘訣も。

「吾妻嶺」

南部杜氏の源流となった志和近江屋（権兵衛酒屋）の酒造りの伝統を受け継ぐ吾妻嶺酒造店の創業は、天明元年（1781 年）。自社田栽培の酒米や岩手産酒米を使用し、地元岩手にこだわった酒造りで知られています。盛岡八幡宮のお神酒は、ここで造られています。

社　名　合名会社　吾妻嶺酒造店
住　所　〒028-3453　土舘字内川5
電　話　673-7221【見学要予約】

日本酒を通じて食文化をはぐくみたい

代表取締役第十三代蔵元
佐藤　元さん

室町時代から酒造りの技術が急激に進化し、時期を同じくして和食も進化しました。和食の進化はお酒のおかげだったのだと言われています。

かつてお酒を仲介にして、食を楽しむ方法を伝えてきた時代がありました。親から子へのコミュニケーションが自然に食育になっていた、そんな時代にわたしは生まれました。そう昔のことではありません。日本酒の消費量が減ったのは、日本酒の伝統文化に問題があったのではなく、お酒を楽しむ文化がすたれたからだと思っています。究極には酒造りの伝統文化は何も変わっていないと言ってもいいです。多くの蔵元は愚直なくらい誠実に、良い酒を造りたい一心で酒造りに取り組んできたのだと思っています。

今蔵元として考えているのは、エンドユーザーとお話しできる機会を増やしたいということです。酒を楽しみ、食を楽しみ、会話を楽しむ、そんな文化をはぐくみたいのです。

日本酒を楽しむ

お米で育った日本人だからこそ分かる日本酒の味わいがあります。日本人には、日本酒の本物の味が分かる能力があるのです。自分に合った本物を探し出す楽しみを捨てるのはもったいない。また、お酒はアミノ酸のかたまりです。腸の長い日本人の悪玉コレステロールを出してくれる健康食品でもあります。日本酒を飲む女性のお肌はツルツルだと言われますよ。

「月の輪」

創業明治 19 年、個性豊かな酒造りには定評があり、「月の輪大吟醸」は独立行政法人酒類総合研究所が主催する新酒鑑評会で金賞に輝いています。代々の当主が酒造りに携わり、横沢家の７代目で酒造業として４代目の当主横沢大造氏は当主と杜氏を兼ねるオーナー杜氏の先駆けです。

社　名　有限会社　月の輪酒造店
住　所　〒028-3303　高水寺字向畑 101
電　話　672-1133【見学要予約】

当店では、少しずつ従業員の若返りに取り組んできましたが、現在の平均年齢は二十四歳ですから、日本一若い酒造りの蔵ではないでしょうか。造った人の顔を思い浮かべることのできる安心できる酒造りが理想です。いろんな期待を込めてお酒が飲めると思っていただきたいし、これから期待できる若者が頑張っている会社として、意欲的で新しい試みのある会社というイメージを大切にしたいのです。日本酒をベースにしたリキュールやアイスクリーム造りなどは、醸造文化を伝えたいという思いから始めたことでした。今後は、本来の日本酒をカジュアルに、おいしく飲みやすくしていきたいと考えています。新しいことに常に挑戦し続ける姿勢を大事にしたいと思います。

日本酒を楽しむ

家庭できちんとしたお料理を作ることで、おいしいお酒を飲む習慣や文化が生まれてくると思うのです。食文化を守ることと酒文化を守ることには密接なかかわりがありますから、まず日本の食文化を再認識してほしい。海外では、はっきりした味と香りのあるお酒が好まれますが、日本料理とお酒はよく合うと言って、すしなら日本酒という人が多いようです。

「廣喜」

創業明治 38 年、米のうま味を最大限に引き出す酒造りに取り組み、純米酒、純米吟醸酒を中心に造っています。今年で第 16 回を迎えた酒造り体験「純米酒の会」は、多くの町外参加者を集めて好評を得、日本酒の新たなファンづくりの試みとして注目されています。

社　名　廣田酒造店
住　所　〒028-3447　宮手字泉屋敷2- 4
電　話　673-7706【見学要予約】

素材を生かした酒造りを続けたい

廣田酒造店杜氏
小野裕美さん

かつて酒造りは、重労働の代表みたいに思われていたのですが、近代化が進んだ今は女性でも働くことのできる職場です。わたしは日本酒の消費量減少傾向も今が下げ止まりではないかと考えています。それは、消費者が純米酒などの人気商品を好んで飲むようになったことや、おいしいお酒をゆっくり飲む本物志向の時代を迎えていると感じることがあるからです。しっかりしたものがほしいという人が増えたことは事実ですね。小さな蔵ですから、大手に追従することなく、個性的な基本のしっかりした酒造り、水と米という素材を生かした酒造りを続けたいと思っています。特にここは水がいいですね。搾ったときからやわらかい酒ができます。

「お酒は口になじむ」と言われ、慣れ親しんだお酒はうまいと感じます。日本酒は食文化に密接にかかわっていて、沿岸と内陸ではお酒のタイプが違います。女性の中では器の美しさから日本酒を飲むようになった人もいます。食と器と燗に極意ありですね。燗酒の魅力を知ると、暮らしに豊かな時間が広がっていきます。夏の燗酒もいいものです。

「堀の井」

こだわりの酒米を栽培しながら地元志向の酒造りに取り組んでいます。蔵元周辺は、豊かな自然に包まれ、美しい水田と清らかな水から美酒が生まれることを想像させる美しい風景が広がっています。（この特集の最初のページに写真を掲載しています）

社　名　高橋酒造店
住　所　〒028-3452　片寄字堀米 36
電　話　673-7308【見学要予約】

消費者志向を見極め自家米で造るこだわり

現在、蔵人とともに息子が酒造りに取り組んでいます。仕込みが進むにつれ、先人の苦労や南部杜氏の偉大さが分かってきているようです。消費低迷の景気は日本酒も例外ではなく、新たな対応を求められています。そのためには良い酒を造ることはもちろんですが、消費者の好みの変化に対応したお酒、また、地元の消費者に好まれているお酒を提供したいと思っています。

当蔵の特徴としては、酒造米の専用田を所有しており、米づくりからの一貫した酒造りを行っています。全量は賄えませんが安全を考慮した、低農薬栽培で気候風土に合った酒造米を使用しています。酒造りとは環境が良くないと良い酒を造ることは難しく、その点、環境に恵まれていることに感謝しています。

日本酒を楽しむには、ゆっくりとした時間の中で適量を飲むことが大切と思います。日本酒は料理を引き立てますし、会話を楽しむことで、一日の疲れを癒やしてくれます。冠婚葬祭には盛り上げ、知らない人同士でもお酒が潤滑油となります。毎日が多忙でコミュニケーション不足が叫ばれる昨今、日本酒をもっと活用して楽しく語らいながら飲んではいかがでしょうか。

廣喜
「純米酒の会」
酒造り報告

酒造りを楽しみ美酒を味わう

寒空にぽっかりと、そこだけ青空から日差しさす小さな酒蔵に歓声が聞こえていました。廣田酒造店主催の廣喜「純米酒の会」の会場です。知る人ぞ知る人気の酒造り体験におじゃましました。

廣田酒造店が毎年一回、酒造りの会を主催しています。今年で十六回目を迎え、参加者は二十四人。洗米、仕込み水運搬、蒸し米と麹の運搬、もろみの櫂入れなどを体験しました。参加者には、この日仕込んだ酒を後日発送します。年会費あり。会員四十人。

放冷

蒸した白米を仕込みに使える適度な温度になるまで冷まします。酒造り体験では手作業で行いました。酒米「吟ぎんが」のもっちりとした手触りが伝わって気持ちいい。蒸かし直後の酒米を少しだけ手に取って食べてみます。酒米をひねって固めてのばして食べることから「ひねりもち」と呼ばれています。これがまた格別にうまい。「ひねりもち」を食べたくて毎年参加する人もいらっしゃるとか。

かいいれ 櫂入

「もろみ」の均一な発酵をうながすために、朝夕２回程度、櫂入れを行います。参加者は数回に分けて、一人一人が櫂入れを体験しました。

洗米

10キログラムぐらいずつ冷水で手洗いします。酒米を大切に扱う必要があるので、皆さん丁寧に洗っていました。それにしても中腰の作業はこたえます。

むし 蒸し

精米を終えた米を洗米し、十分に水を含ませた後、大型のセイロで蒸かし、蒸米にします。セイロから噴き出す蒸気が蔵いっぱいに広がっていきます。これぞ酒造りのスタートと思わせるダイナミックな瞬間です。

参加者にお聞きしました

清酔庵酒味の会　髙木彰さん（盛岡市）

清酔庵酒味の会（村松勉会長）は、全国のうまい酒を取り寄せて、みんなで味わう会として発足しました。平成十二年に四人で始めた会員も今では七十五人。年に九回みんなで自由に集まって日本酒を楽しんでいます。今回も自由参加で六人が参加しています。水、米、作り手にこだわった酒造りを応援したいと思っています。酒は純米酒、特に生原酒にこだわっていたいですね。もっと南部杜氏の里の日本酒を盛り上げたいと思います。

上澤寿美子さん（盛岡市）

友人に誘われて参加したのが始まりで、毎年のように来ています。「純米酒の会」酒造りはもう十六回目なんですね。ここに来ると新しい出会いがあるので楽しみにしています。もとは日本酒愛好家ではなかったんですが、体験を通して日本酒が好きになっていきました。イタリア料理にも日本酒は合うんですよ。

菊田真理子さん（滝沢村）

上澤さんとはワインの会で知りあい、上澤さんに誘われて酒造りにも来るようになりました。ワインも好きですけれど、日本酒も好きです。すっきりとして、さりげなく料理によりそう感じのあまり甘くない方がいいですね。日本酒はいろんな料理に合うと思います。

酒造りの伝統を守りたい

南部杜氏の酒造りの伝統を次代につなぐためには、伝統を守りたいと願う若い蔵人や蔵元を支える町内住民の応援が欠かせません。それぞれの熱い思いをお聞きしました。

天狗寿し　店主
髙橋　淳さん

蔵の味をそのままお伝えしたい

店には県外客や町外から移り住んだ人などもよく来ますので「町内には酒蔵が四社もあるんですよ」と言うと「ずいぶん多いですね」と、よく驚かれます。

日本酒を注文されるお客さまには、町内の四社を紹介して選んでもらっています。お客さまの反応もよくとても好評です。町内の蔵で造るお酒は、全国の日本酒と比較してもおいしいお酒ばかりなので、お客さまにも自信を持ってお薦めしています。蔵の味を落とさず、お客さまにそのままお伝えしたいので冷蔵庫で保管し、お客さまの好みに合わせて冷や酒や熱燗（あつかん）、ぬる燗（かん）などでお出しします。

日本酒はご飯と同じで、どんなおかずにも合うのが特徴だと思います。特に魚や発酵食品との相性がよく、意外にチーズにも合うんですよ。調味料としても料理を引き立て、味の質が上がりますのでとても包容力があります。わたしはみそ汁の隠し味にも使っています。

月の輪酒造店
乳井享介さん

ゴールが見えない難しさとやりがい

十九歳のときに職人にあこがれて酒造りの仕事を選びました。一年目は瓶詰めの仕事をして、二年目から洗米や蒸番（じょうばん）などを経験し、現在も担当している麹造りをするようになりました。天候などの影響から毎年米の質が違うので、それに合わせて造るのはとても難しく、十年目を迎える今でも、ベテランの杜氏さん方の話を聞きながらまだまだ勉強の途中です。酒造りは一生ゴールが見えないような気がしています。本に書いてあることがすべてではなく、体験しないと分からないことがたくさんあります。その代わりいいものができたときはうれしさもひとしおで、とてもやりがいがある仕事だと思っています。

家族ができてからは仕事に対する意識も変わり、やらされているのではなく、自分から頑張らなければという思いが強くなりました。一生懸命に造ったお酒を「おいしい」と言って飲んでいただけることが一番うれしいので、自信を持って薦められるような酒造りをしたいです。

町も応援しています。

歴史と伝統を守りながら、多くの人たちに親しまれるお酒を造り続けるために、全国、そして町内の蔵元で活躍する杜氏や酒造り出稼ぎ労働者を、町はさまざまな形で支援しています。

南部杜氏発祥の歴史を後世に記念碑建設に50万円助成

昭和三十六年当時に千三百六十五人もいた酒造り出稼ぎ労働者は、造り酒屋の減少とともに年々減り続け、今年は百六十六人となり、杜氏の人数も半分近くに減っています。そうした背景を受けて、南部杜氏を未来にわたって顕彰しようと「南部杜氏発祥の地記念碑建設委員会」が組織されました。町はこの記念碑建設の活動に対し、五十万円を助成しています。記念碑の除幕式は今年六月ごろに行うと聞いています。

出稼ぎ者が安心して働ける環境づくり

町は、出稼ぎ者が安心して働けるように「紫波の匠・季節就労安全推進集会」を出発前に開催し、就労中の安全や健康を維持するための留意事項の確認を行っています。

また、出稼ぎの期間中は、町の広報紙「しわネット」や農協の広報紙「JAんぷ」を送付してふるさとの情報をお届けするほか、事故見舞金や火災見舞金の給付事業や、賃金不払いの一部立て替えなどの就労問題の相談にも応じています。

「相談員」が出稼ぎ者をサポート

町は、出稼ぎをする人たちの相談に応じるために「出稼ぎ相談所」を開設しています。町長が所長を務めるほか、出稼ぎ経験者の中から相談員を委嘱して、実際に出稼ぎ先の蔵を訪れ、激励や相談事に応じています。

「鑑評会」に町長賞を授与

南部杜氏協会主催の「南部杜氏自醸清酒鑑評会」が毎年五月に開催されています。南部杜氏が醸造した自慢の銘酒を集めた品評会で九十一回を数えています。町は、この鑑評会の入賞者に対する「紫波町長賞」と「記念杯」の授与を行っています。

「蔵元フェスティバル」の開催

二年前まで町が主催していた「蔵元フェスティバル」は、前述の鑑評会に出品された町出身杜氏の力作約八十点を集めた日本酒を楽しむイベントです。現在はまちづくり企画が主催し、ラ・フランス温泉館で例年六月に開催しています。毎年、町外からもたくさんの日本酒ファンが訪れ、南部杜氏の里を確固たるものとしています。

二カ月連続でお伝えした特集「南部杜氏の酒造り今昔」はいかがでしたか。町で生まれた酒造りの歴史、それは伝統として、今もなお蔵元や杜氏たちに受け継がれています。この歴史は町が歩んできた揺るぎない軌跡として、いつまでも守り続けたい宝物です。

◆日本酒の主な名称

原　酒	もろみを搾った酒に水を加えないもの。アルコール度数は高い。
無ろ過酒	もろみを搾った酒をろ過しないで出荷されるもの。
生　酒	もろみを搾った後に火入れを行わない酒。出荷後も発酵が進むため冷蔵が基本。
純米酒	米と米麹のみで醸造した酒で、米本来の味わいを楽しむことができます。
純米吟醸酒	60％以下に精米した白米と米麹を原料に、低温発酵させて醸造。
大吟醸酒	50％以下に精米した白米と米麹と醸造アルコールを原料とし、低温発酵させて醸造。独特の香味があります。
本醸造酒	70％以下に精米された白米を使用し、原料米総量の10％以下の醸造アルコールを添加したもの。

＊純米酒、吟醸酒、本醸造酒は特定名称酒と呼ばれ、精米の割合や製法に一定の基準があります。特定名称酒以外の清酒は、一般的に普通酒と呼ばれています。

紫波町南部杜氏および酒造出稼者総数
（166人その内、杜氏55人）

責任と自覚、そして感謝！

箱崎恵子さん（北日詰・大学生）／左↓
就職活動を頑張ります。
お年寄りが元気な町であってほしいです。

小野寺有沙さん（北日詰・短大生）／中
大人として責任を持てるような行動をしていきたいです。
子どもたちが伸び伸び育つ町ならいいですね。

滝浦菜美さん（南日詰・大学生）／右
しっかり勉強をして教員免許を取りたいです。
町は地域のふれあいが大切だと思います。隣近所で顔も知らないなんてさみしいですよね。

町は自然を残しながら発展してほしい。

後列左から、岩間瞳さん（高水寺）、徳江郁美さんさん（中島）、佐藤綾菜さん（中島）、徳江満帆さん（中島）、大越由佳さん（桜町）、前列左から、高橋亜衣さん（日詰）、中里智子さん（北日詰）

伝統を守り続ける町！

後列左から、阿部大さん、箱崎修平さん、佐々木拓郎さん、高橋成吉さん、工藤圭一郎さん、瀬川喬介さん、松岡雄大さん、新家祐輝さん、前列左から、高橋優光さん、寺澤直樹さん、佐々木竜也さん、井上雄太さん、阿部翔太さん、山添大樹さん

―紫波町成人式―

町の成人式が1月10日にサン・ビレッジ紫波で行われました。今年の町内成人者数は419人、そのうち345人が出席し、来賓や家族など約300人に見守られながら、気持ちも新たに成人としての一歩を踏み出しました。

藤原町長はあいさつの中で「『失敗は恐れることはない、失敗は成功のもと』失敗を恐れることなくこれからの人生を歩んでいただきたい」と激励しました。また、成人代表の杉浦優貴さんは「今年から参政権を持つ国民の一員として、社会問題にも真摯に向き合い、感謝の気持ちを忘れず、社会人としての自覚を持ち、これからの人生を歩んでいくことを誓います」と宣誓しました。

式典の後、アトラクションとして佐比内金山太鼓の躍動感あふれる演奏が披露され、地区ごとに記念撮影が行われました。

インタビュー

成人式を迎えた今の心境や抱負、町に期待することなどをうかがいました。

近藤淳一郎さん（上平沢・専門学生）
成人となり率直にうれしいです。社会人らしい行動を取り仕事にも励みたいです。将来は地域農業に貢献したいと思っています。若い人にも農業についてもっと知ってほしいですし、若者が農業に携われるように町には支援していただきたいです。

宮　彩子さん（高水寺・大学生）
大人の第一歩を踏み出し、何をするにも責任を持って行動していきたいです。今は薬剤師を目指して勉学中ですが、働くようになったときは医療従事者としてたくさんの人を助けたいです。

大川原貴さん（日詰・会社員）
まだ実感がわきませんが、これまで育ててもらった親に恩返しができるように、行動に責任を持って生きていきたいです。

森川文恵さん（西長岡・会社員）
今まで育ててくれた両親に感謝し、新たな一歩を踏み出したいです。特産物を生かしたまちづくりで、にぎわいのある町になってほしいです。

中村美紀さん（彦部・専門学生）
来年、保育士になれるように勉強を頑張ります。観光に力を入れて元気な町になってほしいです。

橘　理恵さん（大巻・専門学生）
親に感謝して社会人として責任を持って行動できるように気持ちを引き締めていきたい。
今まで以上に明るい町になってほしいです。

太田代かすみさん（大巻・専門学生）
来年卒業して理学療法士になれるように頑張ります。そして親孝行したいです。
きれいなエコな町であってほしいです。

黒田裕章さん（北日詰・大学生）
両親の影響もあって、やりがいのありそうな教師を目指しています。大学を卒業して就職できるように頑張ります。
現在、埼玉県に住んでいますが、町に帰ると何だかほっとします。いつまでもそんな町であってほしいです。

魅力あるまちを目指して

町が進めている各分野の施策について、町民の皆さんが実生活の中でどのように感じているかをとらえ、政策別に今後重点を置いていかなければならない事項を整理し、その結果を今後の町政運営に活用するために、平成21年8月に「町民意識調査」を実施しました。

町は調査結果を皆さんにお知らせすることで、問題意識を共有していただき、一緒に魅力あるまちづくりを進めていきたいと考えています。

■実施内容と回答状況

この調査は、平成15年から隔年で実施しています。4回目になる今回は、前3回とは異なり、調査対象を全世帯ではなく3000人の無作為抽出とし、総合計画に基づく〝町の施策内容〟の満足度・重要度をお聞きするのではなく、施策の成果指標となる〝皆さんの暮らし〟の状態（生活実感）をお聞きする方法を採りました。

その集計結果がまとまりましたので、概略をお知らせします。

※詳細については、3月から各地区公民館へ町民意識調査報告書「町の通信簿2009」を備え付けますのでご覧ください。また、報告書を電子データ化し町ホームページ【http://office.town.shiwa.iwate.jp/】にも掲載します。

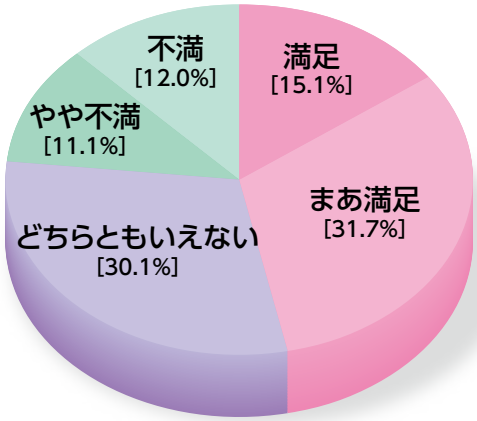
【調査の実施概要】
- ○調査対象：町内在住の満18歳以上の男女3,000人（平成21年7月27日現在の住民基本台帳から年齢層別に無作為で抽出）
- ○調査期間：平成21年8月1日～8月31日
- ○調査方法：郵送による調査票の配布・回収
- ○回答者数：1,182人（回収率：39.4％）

■生活全般の満足度

生活全般の満足度について回答をいただいた結果、46・8％の人が「満足」「まあ満足」と回答しています。

また「不満」「やや不満」という回答は全体の23・1％でした。（グラフ1）

生活全般の満足度（グラフ1）

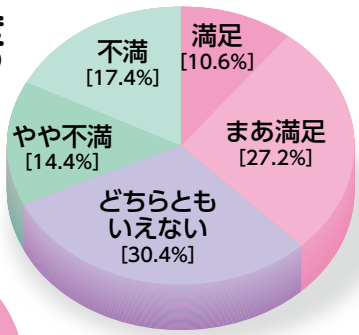


■行政サービスの満足度

町の行政サービスを総合的に見た満足度について回答をいただいた結果、37・8％の人が「満足」「まあ満足」と回答しています。

また「不満」「やや不満」という回答は全体の31・8％でした。（グラフ2）

行政サービスの満足度（グラフ2）

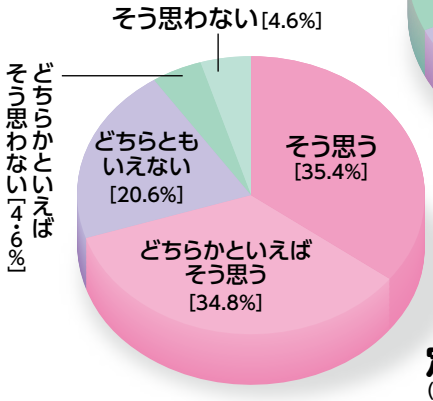


■定住希望者の割合

「紫波町は、ずっと住み続けたいと思える町である」かどうか回答をいただいた結果、70・2％の人が「そう思う」「どちらかといえばそう思う」と回答しています。

また「そう思わない」「どちらかといえばそう思わない」という回答は全体の9・2％でした。（グラフ3）

定住希望者の割合（グラフ3）



■施策別の重要度および満足度

◇重要度について

すべての施策で高い重要度。
一番高いのは「上水道」と「地域医療」。

施策全体で79・5％の人が「重要」または「やや重要」と回答しているなど、大変高い数値となりました。（表1）

◇満足度について

満足度が一番高いのは「火葬場」。
一番低いのは「就労支援」。

施策全体で「そう思う」または「どちらかといえばそう思う」と回答した人は41・6％となりました。（表2）

◇重要度と満足度から見た、町民の皆さんの「必要度」

一番の課題は「就労支援」、次いで「町税」「河川」でした。

次ページ相関図の施策は、重要度が高いが満足度は低いため、町民の皆さんが特に必要と感じている施策であり、今後の課題といえます。そのため、重要度の偏差値から満足度の偏差値を引いた値を「必要度」と定義しました。

今回は、「就労支援」の必要度が一番高くなっています。

◇必要度の高い施策の推移（重要度−満足度の差が大きい順）

「雇用の創出と安定」に対する施策の充実を強く求められています

全4回の調査における上位10施策（表3）をみると「就労支援（勤労者福祉）」が回を重ねるごとに順位を上げ、今回は1位となっています。

このことから「雇用の創出と安定」に関する施策の充実が強く求められているといえます。

重要度が高い5項目と低い5項目（表1）

調査方法　各施策が目指している暮らしの状態について「重要」「やや重要」「どちらともいえない」「あまり重要ではない」「重要ではない」の5段階評価で調査。重要度は「重要」「やや重要」と回答した人の割合。

1	上水道	水道水をいつでも安心して飲めること	95.2%
2	地域医療	安心して医療を受けられること	95.2%
3	救急活動	急病の人や大怪我をした人の命を救う体制が整っていること	94.7%
4	防犯	治安が良いこと	94.4%
5	老人医療	高齢者が安心して医療を受けることができること	93.9%
71	交流のまちづくり	循環型のまちづくりに興味を持って町を訪れる人たちと住民との交流があること	52.6%
72	住民参加のまちづくり	まちづくりに参加できること	51.8%
73	観光交流	観光で訪れる人たちと住民との交流が盛んであること	51.7%
74	野村胡堂・あらえびす記念館	野村胡堂・あらえびす記念館が、芸術・文化に触れることができる施設として魅力的であること	51.7%
75	国際交流	国際交流が活発であること	41.7%

満足度が高い5項目と低い5項目（表2）

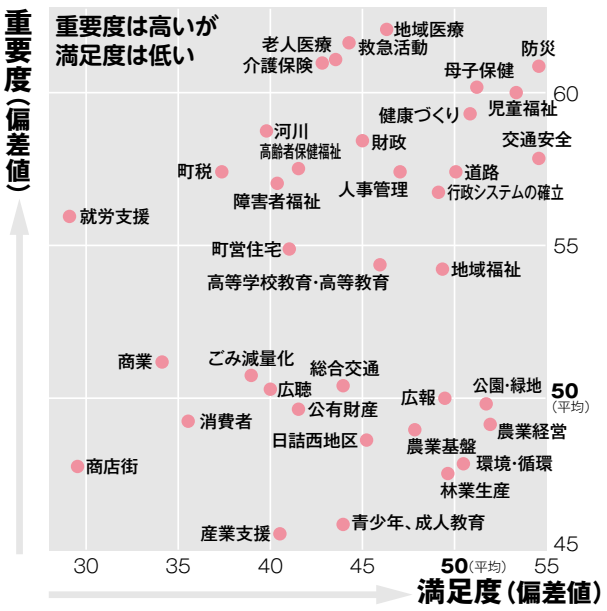
調査方法　各施策が目指している暮らしの状態について、現在の生活実感を「そう思う」「どちらかといえばそう思う」「どちらともいえない」「どちらかといえばそう思わない」「そう思わない」の5段階評価で調査。満足度は「そう思う」「どちらかといえばそう思う」と回答した人の割合。

1	火葬場	みんなが安心して利用できる火葬場がある	89.8%
2	学校給食	小中学生へ安全で安心できる給食が提供されている	84.3%
3	上水道	水道水をいつでも安心して飲める	77.1%
4	廃棄物処理	ごみを適切に処理している	71.5%
5	埋葬地	みんなが安心して故人を埋葬できる墓地がある	70.7%
71	勤労青少年ホーム	若い世代間で職種を越えた交流ができる場がある	13.6%
72	商業	商業が活発である	13.1%
73	工業	工業生産が活発である	6.8%
74	商店街	商店街がにぎわっている	4.9%
75	就労支援	みんなが自分のやりたい仕事に就くことができる	4.0%

必要度の高い10施策（表3）

順位	今回（平成21年度）		平成19年度	平成17年度	平成15年度
1	就労支援	みんなが自分のやりたい仕事に就くことができること	国民年金	工業	除雪
2	町税	町税などの負担と、町が行う行政サービスのバランスが取れていること	就労支援	町税	工業
3	河川	川の増水による災害の心配がないこと	工業	除雪	町民医療
4	介護保険	高齢者が安心して介護を受けることができること	農業経営	勤労者福祉	防犯
5	商店街	商店街がにぎわっていること	道路	町民医療	介護保険
6	老人医療	高齢者が安心して医療を受けることができること	財政・公有財産	国民健康保険・年金	人事管理
7	救急活動	急病の人や大けがをした人の命を救う体制が整っていること	地域医療	介護保険	公害
8	商業	商業が活発であること	町税	公害	義務教育
9	障害者福祉	障害者が安心して暮らすことができること	介護保険	生涯学習施設	生涯学習
10	高齢者保健福祉	高齢者が自立した生活を送ることができること	農業基盤	義務教育	高齢者福祉

各施策の重要度と満足度の相関図



■町への要望（自由記入欄）

町政に関してお気づきの点を自由に書いていただく欄には、多くのご意見やご提言をいただきました。寄せられたご意見の中から主なものを紹介し、担当課による取り組み状況をお知らせします。

○雇用対策について

「雇用に関して全くといっていい程取り組みが感じられない。もっと地元に働く場所が確保されれば、家庭環境が向上され、ゆとりのある生活ができると思う。働く場所がなければ子どもたちは町外へと出ていってしまう。そうなれば将来的にゴーストタウンになるのではないか。20年後30年後を考えると、働く場所がないことは致命的だと思う」（40歳代男性）

「子どもたちは北上市に就職している。紫波町は盛岡市～北上市への通勤が可能であるが、インターチェンジがあるのだから、町内産業がもっとあっても良いのではないか」（40歳代男性）

「働く所を紫波町中心部に多く作る。そのために町税を使うなら良い」（10歳代男性）

●町の回答

町は企業立地奨励のため、企業が新規または増設により土地の取得や設備投資または雇用確保をする場合、奨励金を出して支援しています。また、雇用の安定を図るため、平成21年4月から、国の中小企業雇用調整助成金に町が上乗せする形で助成するといった対策を講じています。しかし、世界規模で不況の波が押し寄せている中、企業支援の効果はなかなか見えにくい状況にあります。

また、主要企業の会社を訪問しお話を伺ったところ、採用の募集はあるが希望者がいないとのことでした。町内の若い人たちが希望する職種と、採用の募集がある職種にミスマッチが生じていることも、雇用問題を深刻化させている要因の一つといえます。

職種のミスマッチを解消するためには、若い人たちが集まり勤めたいと思える場が必要なので、紫波中央駅前の開発により、新しい雇用の場が増える一つのきっかけになることを期待しています。（商工観光課）

○地域医療について

「将来、町で安心して暮らすためには医療体制の整備は不可欠。先だって紫波地域診療センターが無床化されたが、その改善などをもっと考えて実行してほしい」（30歳代女性）

「紫波地域診療センターの入院ベッドが廃止になりとても不安。もし家族が入院となったら、遠くの病院に通わなければならない。入院費用がかかる上、本人または付き添いの通う費用もかかり、二重の負担になる。老人が安心して住める町ではない。町民が安心して入院できるよう病院再建をお願いする」（60歳代女性）

●町の回答

今回の紫波地域診療センターの無床化問題に端を発した地域医療の問題は、町の施策の重要課題ととらえ関係機関や住民団体の方々と協議を重ねているところです。

町は、平成21年4月の紫波地域診療センター入院ベッド「休止」後、機会あるごとに県医療局に対して外来機能の充実と継続について要望し、さらに病床の再利用などについて検討時間を十分確保してもらうよう要望しています。

また、通院している患者が、入院が必要となった場合の移送のためのタクシーについても、当初は県立中央病院1カ所のみ対応というコース設定でありましたが、町からの要望により21年11月からは盛岡赤十字病院や盛岡友愛病院などへの入院に対しても対応可能となっています。

救急入院先の確保については、現在は二次救急医療圏である盛岡広域の救急指定病院に、入院の受け入れをしてもらう体制となっています。町内に救急対応が可能な入院ベッドがあることが理想ですが、仮に紫波地域診療センターの病床が復活したとしても、当直医が1人の体制では、救急患者の受け入れが困難であると思われますので、ご

理解をお願いします。（長寿健康課）

○子育て支援について

「現在3歳未満の子どもを預けたくても、保育所はいっぱいで待機している状況が多く、ほとんどの場合託児所に預けなければならないため、経済的負担も大きい。町でもできれば今以上に対応してほしい」（20歳代女性）

「子どもが0歳児の時に、8カ月待っても結局保育所には入所できなかった。町内には働き口も少なく、町外でやっと仕事をみつけても保育所に入れず、5倍以上の額を払って託児所に預けなければならなかった。絶対何とかした方が良い。一時保育も利用しづらいし、分かりづらい」（20歳代女性）

●町の回答

仕事を探す一方で、子育てに苦労されていることとお察しします。

保育所の入所については、家庭の子育てに関するさまざまな事情をお聞きした上で決定しています。保育所は福祉施設でもあるため、入所の審査に当たっては、一人親世帯や長時間勤務で子どもを保育する時間が取れないなど、お困りの度合いの高い人から優先的に入所の決定をしています。

また、幼稚園の「預かり保育」や「一時保育・保育ママさん」など、保育所以外の子育て支援サービスを活用されている家庭もあります。町として子育て支援サービスについてもっと分かりやすく、また、利用しやすくなるように努めてまいります。なお、4月より「認定こども園」が開設され、0歳児からの保育が可能になりますので、併せてお考えください。（福祉課）

○日詰商店街の道路整備について

「商店街の道路が気になっている。金融機関などが集まっていることもあり車を利用している人が多いが、所々に木が植えられているため、交通量を考えると、とても危険な道路になっていると感じる。今の状況では歩行者にとって安心、安全な商店街になっているとは思えない」（30歳代女性）

「日詰商店街の道路に樹木が植えられ非常に通行しづらい。老人の車運転ではとても無理。樹木を早く取り除き、高齢者も車で安心して通ることができる商店街にしてほしい」（70歳代男性）

●町の回答

日詰商店街を通る主要地方道紫波江繋線の「くらしのみちゾーン」は、道路管理者である県と日詰商店会が協議しながら国土交通省の施策である「歩行者・自転車優先のみちづくり」に応募し、採択され整備が決定したものです。地域住民・各種団体・県・町の度重なる協議を経て総意のもとに完成に至りました。

この歩行者・自転車優先の道路には、車がスピードを出し過ぎないための工夫や、歩行者の安全性や快適性を確保しつつ環境や景観にも配慮した「道路空間の形成」が求められています。

一般的に一方通行とするケースが多いようですが、日詰商店街の場合、自動車の利便性を排除せず従来どおりの対面通行とし、植栽を施すことで車道の一部をあえて狭くし、車両速度を落としてもらう方法を採用しています。

自動車中心の道路から交通弱者と呼ばれる歩行者や自転車に優しい道路へと、道路に対する概念の転換を促す取り組みであり、自動車利用の方々にとっては通行に不便を感じる場合もあると思いますが、どうぞご理解とご協力をお願いします。（土木課）

○職員対応について

「役場職員の対応の悪さ、人当たりのきつさが気になる時がある。もう少し丁寧に対応してくれても良いのでは」（20歳代女性）

「いつ行っても役場職員の対応の悪さを感じる。わたしたちも頑張って町税を納めている。役場職員ももっと笑顔で明るく頑張ってほしい」（30歳代男性）

●町の回答

職員の対応により不快な思いをさせてしまいましたことを心よりおわび申し上げます。

接遇については職員研修を実施しているほか、会議などさまざまな機会をとらえて、日ごろから注意を喚起しているところですが、ご意見を真摯（しんし）に受け止め、今後は職員への指導をより一層徹底してまいります。（総務課）

■最後に

町は、皆さんから寄せられた貴重なご意見や各施策に関する調査結果を真摯（しんし）に受け止め、これから町の取り組みに生かしていくことで、町民の皆さんにより満足していただける、魅力あるまちづくりを進めてまいります。

最後になりましたが、この調査にご協力いただいた皆さんに厚くお礼申し上げます。

●問合せ　企画課　情報政策室
☎（672）2111　内線3232

町出身の松本秀人さん（元TGM）によるライブ

冬でもどこかあったかい

紫波冬まつり

現役高校生ユニット「ほわいと」
ギターの佐々木志歩さんは町出身

会場を盛り上げた
ふじポン

北扇会の舞踊ショー

人気のソリ遊び

「紫波冬まつり」が一月三十日にラ・フランス温泉館エリアで行われました。今年は一日限りの開催でしたが、屋台村が開店した午前十一時から閉会の午後九時までに約三千人の来場者でにぎわいました。昨年に続いて、県内のテレビなどで活躍する〝ふじポン〟が司会を務め、得意の元気なおしゃべりでメーン会場を盛り上げていました。

日が暮れてからのお楽しみ、二千六百個の夢あかりと冬花火には、この日一番の人出がありました。家族四人で訪れた日詰地区の田中均史さんは「初めてですが冬のイベントもいいものですね。日中に体験した雪上ゴムボートがとても楽しかったです。花火を見ようと夜にまた来ました。インターネットにイベント情報がなかったのが少し残念です」と話していました。

今年で五年目となる冬まつりは、紫波冬まつり実行委員会（西在家悦子会長）が主催し、高校生を含む大勢のボランティアスタッフと、多くの協力（協賛）団体の支援で作り上げた、町の皆さんによるどこか温かみのある手作りのイベントです。今年訪れることができなかった人も、来年はぜひ足を運んでみてください。

夢あかりコンテスト審査結果

キラキラ賞

保育所・児童館

ファンタジー賞

シルバー人材センター

エコ賞

紫波町役場

アイデア賞

あづまね温泉ききょう荘

特別賞

にこにこひろば

特別賞

ビューガーデン

冬まつり賞

あづまね産直

やなだ真栄一座の民謡ショー

祭輿會の寒中みこし

メーン会場の屋台村

ライトアップされた南部曲がり屋「武田家住宅」

権現堂さんさ踊り

もちつきともち振る舞い

高校生もボランティアとして活躍

平沢鹿踊り

肝炎ウイルス検査

一生に一度は受けましょう！

～あなたの肝臓は大丈夫？～

ウイルス性肝炎とは？

ウイルス性肝炎とは、肝炎ウイルスに感染して肝臓の細胞が壊れていく病気です。ウイルスによって肝臓の細胞が壊れ、進行すると肝硬変・肝がんになることもあります。

肝炎ウイルス検査について

採血して血液を検査します。まだ検査を受けていない人は早く受けましょう。肝炎の早期発見・早期治療が肝がんを防ぎます。

肝炎ウイルスに感染していることが分かったら・・

肝炎ウイルスに感染していると、全く自覚症状がなくても肝機能検査で異常値を示し、知らない間に病気が進行することがあります。肝炎ウイルスに感染していることが分かったら、必ず医療機関を受診しましょう。全く自覚症状がなくても定期的に受診し肝臓の状態をチェックしておくことが大切です。

◆問合せ　長寿健康課　健康推進室
☎672-4522
有線　01-8991

保健センター 佐々木保健師

無料で肝炎ウイルス検査を実施しています。

【県央保健所】
◆検 査 日　第1・3水曜日
◆受付時間　午前10時～11時
◆申込・問合せ　☎629-6573
【町内医療機関】
渡辺内科医院／川守田医院／加藤胃腸科内科医院／紫波地域診療センター
◆医療機関で受ける場合も県央保健所に申し込みが必要です。
◆申込・問合せ　県央保健所　☎629-6573

インターフェロン治療費の助成

町はインターフェロンを用いた肝炎治療費の一部を助成しています。

◆対　象
①町内に継続して1年以上住所がある人
②肝炎ウイルスに感染している人
③医師がインターフェロンを使用した治療を受けることが適当と認めた人

◆助成金額
①町県民税非課税世帯
1カ月あたり　10000円
②①以外の世帯
1カ月あたり　8000円

◆助成期間　6カ月間

※事前に申請が必要です。

町の栄養士がお伝えします 健康レシピ

［レシピ提供／紫波町食生活改善推進員協議会　日詰地区会員　阿部恵子］

阿部です。できたてでも、冷めてからでもおいしく食べることができます。中にピーマンやチーズを入れても良いですよ。

今月は…

スパニッシュオムレツ

ジャガイモの主な成分はでんぷんで、ビタミンCも豊富です。ジャガイモのビタミンCはでんぷんに包まれているので、加熱しても壊れにくいのが特徴です。いろいろな料理に使ってみてください。

【材料（フライパン23センチサイズ1つ分）】
ジャガイモ…中6個、卵…6個、玉ネギ…1個、ベーコン…100g、塩…小さじ1、サラダ油…大さじ3、バター…大さじ2～3、コショウ…適量

【作り方】
①ジャガイモの皮をむき、半分に切る。さらに2～3㍉の厚さに切る。
②①のジャガイモをサラダ油とバターでしんなりするまで炒め、塩・コショウする。
③玉ネギとベーコンを細切りにし、②のジャガイモと一緒に炒め、一度火を止める。
④③に溶き卵を合わせ、弱火で両面を焼く。

就学前の教育と保育に新たな選択肢「認定こども園」が誕生します

●「認定こども園」とは？

建物は別々ですが、幼稚園と保育園を併設し一体的に運営することで、教育と保育の利点を一貫して提供することができる施設です。都道府県が認定する制度として平成18年度から始まりました。

●町内では４月からスタート

町内で初めて、県内では８番目に日詰幼稚園が認定される見込みです。４月からの運営開始を目指し、これまでの幼稚園に隣接して保育園の建築が進められています。完成後は日詰幼稚園とひづめ保育園の総称を「認定こども園ひかりの子」としてスタートします。

※認定こども園は「幼保連携型」「幼稚園型」「保育所型」「地方裁量型」の４種類があり「ひかりの子」は「幼保連携型」となります。

●「認定こども園」の利点

・幼稚園と保育園が連携することで、一体的な保育と教育が受けられます。
・子育て相談や親子の集いなど、地域の子育て家庭を支援します。

●「認定こども園」の特徴

・幼稚園教員免許状と保育士資格を持った職員が担当します。
・保育時間を柔軟に選択できます。
・入園の手続きは、保育であっても認定こども園で直接受け付けます。

◆問合せ　福祉課　こども室　☎672-2111
内線1531・1532

【幼稚園・保育園（所）・児童館・認定こども園の比較】

施設名	利用できる子ども	特長	施設の性格
幼　稚　園	３歳から就学前の子ども	日中の４時間ほどを中心に、幼稚園の個性を生かした教育が受けられます。	学校教育法に基づく幼児教育の施設
保育園（所）	日中、保護者による保育が困難な家庭の就学前の子ども	保育ができない時間帯を保護者に代わって保育を行います。	児童福祉法に基づく児童福祉施設
児　童　館	施設のある地域の３歳から就学前の子ども	遊びや生活を通じて、健康を増進し、情操を豊かにする指導を行います。	
認定こども園	幼稚園、保育園それぞれの利用対象となる子ども	幼稚園、保育園相互の子どもの交流が図られ、保育の時間も柔軟に選ぶことができます。	幼稚園と保育園の機能を備えた都道府県が認定した施設

【町内の就学前児童施設】

施設の種類	施設の名称・連絡先	利用手続き・問合せ
幼　稚　園	日詰幼稚園☎672-2542	各幼稚園
	赤石幼稚園☎672-2044	
	あづま幼稚園☎673-7202	
保育園（所） 児　童　館	中央保育所☎672-3680 ／古館保育所☎676-6048 虹の保育園☎673-7307 ／佐比内保育所☎674-2202 水分児童館☎673-7234 ／彦部児童館☎676-2355 赤沢児童館☎672-3294 ／長岡児童館☎672-3594	役場福祉課こども室　☎672-2111 内線1531・1532
	ひづめ保育園☎672-2542	日詰幼稚園（ひづめ保育園は４月開設予定です）
認定こども園	ひかりの子（日詰幼稚園・ひづめ保育園）☎672-2542	

交通安全最優秀地区が決定

紫波警察署管内（紫波郡と盛岡市都南地区）を対象とした「紫波地区交通安全コンクール」表彰式が紫波交通安全協会で行われ、彦部地区が総合成績最優秀地区に選ばれました。紫波交通安全協会が行うこのコンクールは「飲酒運転検挙者数」と「交通死亡事故件数」「交通傷害事故件数」を地区ごとの人口割りで計算し、割合が最も少ない地区を啓発努力の成果として表彰しています。飲酒運転追放の部最優秀は乙部地区。

1/8

表彰された彦部地区交通安全協会の畑山輝雄会長

町を守る決意新たに

一月としては穏やかな天候の中、ショッピングセンターナックスの駐車場に、消防団員、婦人消防協力隊員、消防署員など消防関係者約三百人が集まり、消防出初式が行われました。統監の藤原町長は「さらに訓練を積み火災防止活動に活躍してほしい」と訓示を述べ観閲を行いました。また、式典前には恒例のパレードが日詰商店街で行われ、沿道で見守る人たちに、ラッパ隊の演奏に合わせた士気高い行進が披露されました。

1/11

日詰商店街をパレードする消防団

星山の森が学校になった

県が主催する「第三回森のゼミナールin紫波」が星山小学校で開催されました。同校を設計した建築士の佐川旭さんが講師として訪れ、県内から集まった約七十人の参加者を前に「自然の持つ彩度が落ち着きを与えるため、木材と白壁のバランスが心を落ちつかせる」「北斜面で育った木材は家の北側に使う」など、日本家屋について語り、学校林の木材を使って建築された同校校舎の特徴についても詳しく解説しました。

1/11

校舎内を案内する佐川さん

小正月を楽しむ交流会

古館公民館で「小正月を楽しむ会」が開かれ、古館老人クラブ連合会（加藤義男会長）の二十五人と古館保育所の五歳児二十八人が、ミズキ団子作りやもちつきをして交流しました。赤、白、緑に色づけられた団子は、児童たちの小さな手で五百円玉程度の大きさに丸められ、一つ一つミズキの枝に飾り付けられました。初体験の西口大偉くんは「もちをついたり団子を丸めて木に付けたりして楽しかった」と話していました。

1/14

団子をミズキの枝に飾り付ける児童たち

元気な土が育てています

紫波町循環型農業生産物普及協議会は、第一回勉強会・意見交換会を行いました。参加した産直組合員や堆肥製造者、循環型まちづくりに関心のある町民二十八人が「堆肥を使った基礎的な土づくり」について学び、元気な土づくりへの取り組みを再確認しました。同協議会では、意見交換会で出された疑問点や改善点などのさまざまな意見を参考に「元気な土が育てた農産物」の普及活動に反映させていく考えです。

1/14

和やかな雰囲気で意見を出し合う参加者たち

障害を分かってほしい

精神に何らかの障害を持つ人たちが交流する組織、さくら会がナックスホールで寸劇交流会を開催しました。町の皆さんに自分たちのことをもっと理解してもらおうと、昨年夏ごろから練習をしてきました。「生きていてもしょうがない」と悩む主人公が、同じ心の病を持つ仲間との交流から、次第に自信を付け前向きに考え出すという内容に、多くの拍手が送られました。後半はパネルディスカッションが行われました。

1/15

自分たちの体験を一生懸命に演じる出演者

観光ガイドに自信

本紙「行ってみよう」でおなじみのボランティアガイドしゃ・べーるの三人が「いわて観光おもてなしマイスター」に認定されました。県内への観光誘致を目的に県が認定するもので、三人は、九月に研修、十一月に県内観光地についての筆記試験や面接試験を受け認定されました。これまでに（株）まちづくり企画の四人と、しゃ・べーるの大平セイさんが認定されており、町内のおもてなしマイスターは八人になりました。

1/18

認定された左から小笠原悦子さん、久慈和子さん、岡村日出子さん

車いすの不自由さを体験

古館公民館のわいわい広場（及川幸枝代表）を利用する古館小学校の児童約八十人が、車椅子や白杖を使ったハンディキャップ体験をしました。体が不自由になったときの状態を体験した三年生の福田ひかるさんは「車いすは思ったより力がいるので大変さが分かりました。白杖体験は前が見えなくて怖かったです」と話していました。同広場は、放課後に地域のボランティアと児童がふれあう地域交流や異学年交流の場です。

1/21

車いすで段差を避けて通る体験

観光情報プラザができました

町の観光交流について情報発信を行う「観光情報プラザ」が日詰商店街にできました。

◆場　　所　日詰字郡山駅95-1
◆開設日時　平日の午前10時～午後５時
（土・日曜日、祝日は休み）
◆運営先　（株）郡山駅　☎681-2227　FAX 681-2228

教育ローンのご案内

国や町では、高校・短大・大学・専修学校などへの入学資金、または在学資金を低利で融資しております。

◆融 資 額　学生・生徒１人あたり300万円以内
◆返済期間　15年以内
◆用　　途　入学金、授業料など
◆申込・問合せ・相談
○「国の教育ローン」コールセンター
☎0570-008656または☎03-5321-8656
○「紫波町勤労者教育資金提携金融機関」
東北労働金庫盛岡支店　☎629-1111

平成22年度「男女共同参画週間」キャッチフレーズ募集！

男女が互いにその人権を尊重しつつ責任も分かち合い、性別に関わりなくその個性と能力を充分に発揮することができる男女共同参画社会の実現に向け、その趣旨をより浸透させるためのキャッチフレーズを募集しています。

◆募集内容　男性女性問わず幅広い層の人に「男女共同参画」を理解していただけるようなシンプルで心に残るキャッチフレーズ
◆応募資格　不問（ただし、作品は個人による未発表の自作のものに限る）
◆応募締切　2月26日（金）必着
◆応募方法　郵便ハガキ、FAX1通につき1作品とし住所・氏名・年齢・性別・電話番号を記入の上、下記まで（１人何作品でも可）
◆応募・問合せ　内閣府男女共同参画局
〒100-8914　東京都千代田区永田町1-6-1
内閣府男女共同参画局総務課「キャッチフレーズ募集係」
☎03-3581-9566　http://www.gender.go.jp/

ラ・フランス温泉館2月YOGA教室のご案内
雪と寒さでなぁんとなぁく気分がのらない2月。
そんな2月は、ヨガと温泉で"すっきり、ほっこり"
18(木)・25(木)
11:00～12:30
18:30～20:00
初心者の方も大歓迎
講師/NPO法人日本YOGA連盟YOGA講師陣
特典 入浴付、味処あづまねお食事割引券付き
場　所／2F トレーニングルーム
参加費／お一人様 1,500円
定員数／1教室10名様
参加方法／電話にて申込みください
※ヨガマットはご持参ください
（お持ちでない場合は厚手のバスタオル）
La France ラ・フランス温泉館
PH値9.0のアルカリ性単純温泉でとろ～りつるつる美人の湯
〒028-3444 岩手県紫波郡紫波町小屋敷字新在家90番地
☎019-673-8555
FAX 019-673-8556 E-mail yoyaku@lafrance.co.jp URL http://www.lafrance.co.jp/

無ろ過生詰めワイン
「紫波物語」新発売
2月10日(水) 限定発売
無ろ過生詰めワインは
・紫波町産ぶどう100%
・ろ過しない ・熱処理しない
・できたままの美味しいワイン
紫波物語 白/辛口
リースリング
1,365円(税込)
フルーティで酸味のやわらかな辛口ワイン
◆紫波フルーツパークでは、10種類のワインを試飲できます。
◆販売所：紫波フルーツパークのみでのお買い求めいただけます。
(株)紫波フルーツパーク（紫波町第三セクター）紫波町遠山字松原1-11（道の駅紫波の裏手）
☎019-676-5301 URL http://www.shiwa-fruitspark.co.jp/

美容室 Kami Hikoki カミヒコーキ
30%サービス
2月期間中
バージンヘナ&インディゴ
○クリープウェーブ（カットブロー別）……4,620円
○カーリングウェーブ（カットブロー別）……3,990円
○Milk カラー（カットブロー別）……3,675円
○天然ヘナ&インディゴ（カットブロー別）……4,200円
○ベースカット（S・C・B）4,935円
≪ヘナ&インディゴ草木染めの不思議をご堪能下さい≫
〒028-3303 紫波郡紫波町高水寺字古屋敷6-31 TEL 019-676-4104
E-mail kamihikoki@posh.jp
新規メール会員 500円クーポン
OPEN 9:00～CLOSE 20:00 定休日／毎月曜日・第三日曜日
吉館駅 Kami Hikoki 中島歯科 ローソン たもり 加藤医院 至花巻 4号線 至盛岡

ソフトデジタルパーマ
ふんわりウェーブで、スタイリングもラク!!
新規のお客様限定
ショート 12,000円→8,400円
ロング 15,000円→10,500円
高アミノ酸シャンプープレゼント!!
Salon do Passe サロン・ド・パッセ
メニュー
カット(1S・B込) 2,200円～
パーマ(S・C・B込) 3,980円～
カラー(リタッチ) 2,980円～
着　付(一般) 6,000円～
Heartful ハートフル美容院
【営業時間】8:00～18:00(受付17:00まで)【定休日】月曜日【駐車場】10台
日詰西6丁目1-8 ☎(672)2700 予約優先
23年度 成人式予約 着付&アップ 10,000円 先着7名

Information

紫波町ポータルサイト http://www.town.shiwa.iwate.jp/　問合せ／紫波町（代表）☎672-2111

シルバー人材センター 入会希望者説明会

◆対　象　町内に居住する60歳以上の健康で働く意欲を持ち、社会参加を希望する人
◆日　時　３月17日（水）　午前９時30分から
◆会　場　銭形平次会館２階会議室（日詰商店街）
※希望者多数の場合は、会場を変更する場合があります。
◆申込・問合せ　３月10日（水）まで
（社）紫波町シルバー人材センターへ　☎672-1274

紫波町育英会　22年度奨学生を募集

４月から高等学校、高等専門学校、専修学校（専門課程に限る）、短期大学、大学に進学し、奨学金の貸付を希望する人は、お早目に現在の学校と相談され、出願手続をしてください。また、現在在学中の奨学生希望者も同様です。

◆貸付月額　高等学校２万円（県外３万円）／高等専門学校３万円／専修学校３万円／短期大学３万円（県外４万円）／大学３万円（県外４万円）
◆返還方法　卒業後、在学した学校の修学年限の２倍相当期間以内に返還。（例：４年制大学の場合８年間）ただし、高等学校および大学を通じて貸与を受けた場合は10年以内の期間。（保証人必要、期間内無利息、期間超過の場合延滞金あり）
◆申込（出願）　３月31日（水）まで。審査決定は４月下旬の予定。
※事前に教育委員会で必要書類をお受け取りください。
◆問合せ　教育委員会　学務課　☎672-3362
有線01-8941

ホームページを一新 町の観光を全国に発信

「紫波町観光交流案内」http://www.48kanko.jp/

このホームページは、町が作成し、管理運営を（株）郡山駅に委託しています。また、観光情報や写真などを募集しています。情報のある人はホームページから投稿するか、管理運営先にお知らせください。

◆管理運営先（株）郡山駅 ☎681-2227 FAX 681-2228
e-mail　kohriyama@shiwa-nigiwai.com
◆問合せ　商工観光課　観光交流室　☎672-2111
内線3631

陸上自衛隊岩手駐屯地音楽隊 第25回定期演奏会

◆日　時　３月13日（土）
午後３時開演（午後２時15分開場）
◆会　場　盛岡市民文化ホール（マリオス）
◆出　演　岩手駐屯地音楽隊、第９音楽隊、秋田駐屯地音楽隊、巌鷲太鼓部
◆費　用　入場無料（入場整理券が必要です）
◆入場整理券　２月20日（土）から役場総務課のほか次の場所で配布します。
マリオス／フェザン／川徳／県民会館／東山堂楽器中の橋店／自衛隊岩手地方協力本部
◆問合せ　総務課　消防防災室　☎672-2111
内線3132
陸上自衛隊岩手駐屯地司令業務室
☎688-4311

中央葬祭センター シンセラホール紫波
お陰様でオープン1周年
大切な人をお送りするために…
これからも、真心込めてお手伝いさせていただきます
岩手県紫波郡紫波町桜町字上野沢278
☎676-7676 FAX676-4404

岩手県公安委員会指定
紫波中央自動車学校

0120-219-196
〒028-3304 紫波町二日町字西七久保66-1
☎672-4316 FAX 672-4355
URL http://www.shiwachu.jp
免許を取るなら シワチューで！
担当制でお客様の予定に合わせた予約が可能です

新しい総合計画づくり Vol.5

でもその前に…現在の計画はどのくらい進んでいるの？

まちづくりの指針である総合計画。この計画の現在の進捗状況について、しわネット十月号から毎月お知らせしています。新しい総合計画（第二次紫波町総合計画・平成二十三年度～平成三十二年度）の策定は、これらの取り組みの総括を踏まえて策定していきます。

協働のまちづくりのために「すべての人々が協働・参画する社会」「創造性があふれ、活力みなぎる産業が展開する社会」の実現に向けた指標（目標値と現状値）についてお知らせします。

◆問合せ
企画課　政策調整室
☎（672）2111
内線3223

協働のまちづくりのために
「すべての人々が協働・参画する社会」の実現に向けた取り組みと現状

＜取り組み（計画）＞

■住民参加のまちづくり
住民参加のルールづくりと参加機会の拡充
町民の意見や活動を行政活動に反映させる

■男女共同参画社会の推進
男女共同参画基本計画の推進

■コミュニティ
地区単位でのネットワークによるまちづくり
コミュニティが学び行動する場づくり

＜取り組み（現状）＞

内　容	策定時（H16）	現　状（H20）	目　標（H22）
町民参加のまちづくりに参加意向を持つ人の割合	17.0%	－	30.0%
※住民参加のまちづくりが重要だと考える人の割合	－	80.7%	－
認証を受けたＮＰＯの団体数	0団体	10団体	7団体
審議会などへの女性の登用の割合	23.7%	25.2%	30.0%
男女共同参画サポーター認定者数	16人	30人	30人

※「町民参加のまちづくりに参加意向を持つ人の割合」の現状は捉えていないため、平成19年度町民満足度調査結果「住民参加のまちづくりが重要だと考える人の割合」を掲載しています。

企画課から一言
地区創造会議などをきっかけに地域の魅力や素材を磨いていこうとする活動やNPO団体の支援をしています。「市民参加条例」により町の計画や施設は皆さんのご意見をいただきながら検討するよう全庁で取り組んでいますので、意見交換会や意見公募があった際には積極的な参加をお願いします。

協働のまちづくりのために
「創造性があふれ、活力みなぎる産業が展開する社会」の実現に向けた取り組みと現状

＜取り組み（計画）＞

■産業支援
内発型産業の育成
起業の育成・支援
企業誘致の推進

■農業経営
担い手の育成、確保
需要に即応した農産物の安定供給の推進
環境に配慮した農業の推進
農業者年金制度の推進

■農業基盤
農地の有効利用の促進
地域資源の保全管理施策の構築
有機資源循環体系の確立

■林業生産
健全な森林の保全
林業生産基盤の整備
総合的な林産物の供給

■商業と商店街
市街地の整備改善
商業等の活性化
商業経営の改善と人材の育成

■工業
既存企業の振興
企業誘致の推進

■就労支援
就労者定着への支援
季節就労支援
職業訓練機関の強化

＜取り組み（現状）＞

内　容		策定時（H16）	現　状（H20）	目　標（H22）
農産物品目別産出額	米	41.0億円	34.9億円	41.0億円
	野菜	10.7億円	10.3億円	12.8億円
	花	1.6億円	1.8億円	1.9億円
	果実	14.5億円	16.3億円	14.6億円
	肉用牛	4.2億円	4.9億円	4.3億円
認定農業者数		193人	211人	241人
新規就農者数		17人（累計）	44人（累計）	31人（累計）
家族経営協定締結農家数		14戸	50戸	27戸
遊休農地の面積		146ha	98ha	141ha
ほ場整備率		94.3%	95.8%	96.8%
間伐実施面積		27.0ha	67.0ha	32.4ha
素材生産量		3.9千m^3	4.3千m^3	4.7千m^3
空き店舗の活用件数		8軒	6軒	11軒

農林課から一言
循環農業アドバイザーを中心に、農業改良普及センターやＪＡなどの関係機関と連携して、認定農業者や集落営農組織の育成支援に努めています。平成22年度からは町独自の新規就農支援事業を始める予定です。新規就農者が将来的に安定した農業経営ができるよう支援を行います。

ニュースダイジェスト 1月

消防ポンプ車を更新

消防団第６分団第2部（片寄地区）の消防ポンプ車が更新され、１月８日に交付式が行われました。購入費用は1,854万円です。

交通指導隊・初点検

町内交通安全関係者約20人が参列のもと、1月14日に総合体育館前で交通指導隊初点検が行われました。藤原町長は「１件でも事故を少なく治めてほしい」と訓示を述べ隊員や車両の観閲を行いました。

「環境マイスター」21年度養成講座終了

町は本年度新たに19人を環境マイスターに認定しました。この認定制度は平成17年度から実施しており、大学教授の講義をはじめ、実習など全７回行われる「環境マイスター養成講座」の受講者を対象に認定するものです。認定後は、環境保全活動リーダーとして地域などでの活躍が期待されます。被認定者はこれで83人になりました。

県農業農村指導士に富山さん

県農業農村指導士に、赤沢地区の富山司さんが認定されました。地域において農業技術・経営などの指導や、消費者への情報発信・交流に努めるなどの役割を担います。県内全体では同指導士が15人、青年農業士が８人認定されました。町では９人目となります。

紫波町に定住・住替をお考えの皆さんへ

宅地 分譲販売中
古館NT内　8区画
北日詰大日堂　8区画

中古住宅 900万円
延べ床面積 91.08㎡ 27.55坪
土地面積 201.75㎡ 61.02坪
●所在地／紫波町中島字前郷
●交　通／JR古館駅徒歩5分
●建物構造／木造2階建　●引渡し／即
●建築年月／昭和54年5月　●取引形態／仲介
6m南面道路、日当良好、大型車庫・物置
H14年内・外リフォーム、H20屋根塗装済み

不動産の売買・仲介、自社開発宅地・建物分譲
(社)全日本不動産協会会員　東北地区不動産公正取引協議会会員
岩手県知事免許(1)2255号
ウエノ不動産管理(有)
☎671-2072 FAX671-2073
日詰字下丸森9-4（養老乃瀧 紫波町店となり）
最新情報はホームページへ ウエノ不動産管理 検索
広告有効期限／平成22年2月28日

歓送迎会ご予約承り中
会席料理 3,000円～ 飲物・税別
会合・年会にもどうぞ。
２名～30名までご利用できます。
堀こたつのお部屋もございます。
お料理・ご予算は相談に応じます。
＊先付　＊季節の小鉢　＊焼き物　＊煮物　＊刺身　＊寿し　＊吸物　＊甘味
天狗寿司
日詰字東裏5 ☎(676)2651
駐車場８台完備
従業員募集中（調理者）1名
ランチタイム好評営業中 11:30～14:00
すしランチ1,000円・海鮮丼800円
当店オリジナル すしビビンバ 890円
その他全6種類 サラダ・小鉢付

2階は キッズルーム完備のアットホームなお店♪
キッズルーム完備で小さなお子様連れでも安心のサロン。キッズカット 1,000 円（小学 6 年生まで。シャンプーなし）の料金設定もママに優しい。ご家族でどうぞ♪
3/15まで 広報持参のお客様 1,000円OFF（キッズカット除く）
パーマ or カラーのお客様に限り粗品プレゼント

1階は 驚きのデトックスカラーを体験してみませんか
デトックスカラーは、単なる毛染めではありません。
毛穴から異物を排泄することによって、
「まるでストレートパーマをかけたみたいに髪質が変わる」
と体験したお客様から驚きの声が寄せられています。
ぜひこの機会に体験してみてください。
新規の方に限り
パーマかカラー 2,000円 割引券
●1枚につき1名様1回のみご利用可
●受付時にご提示ください。
●ほかの割引券との併用不可。
有効期限 平成22年 6月30日まで
光触媒を使って有害物質を分解し、クリーンな店内空間を実現しています
自然の力であなたの美と健康を考える美容室

美容室GIRAF
紫波町吉水字祭田160番1 2F 営10:00～18:00(受付) 休月曜日 第3日曜日
☎019-671-7061

エルミタージュ
美容室GIRAF
ラ・フランス温泉館
JA水分
GS
↑盛岡
●麺屋八代
Ⓟあり
★予約先行
紫波中央駅→

美容室 エルミタージュ
紫波町吉水字祭田160番1 1F 営8:30～18:00 (受付) 休月曜日
☎019-671-7060 0120-493651

安倍道とお寺さん その3

専修院 憶念山 稱名寺（浄土宗）

雪に囲まれた稱名寺本堂

案内役は、観光ボランティアガイド「しゃ・べーる」の嶋田晴子さんです。

しわネット五月号と十一月号に続く三回目は、稱名寺をご案内します。

稱名寺は、前回までにお伝えした願円寺、隠里寺から南に五百メートルほどの盛岡和賀線沿いに建っています。江戸時代の初めに故白和尚によって、専修院という名称で開かれました。

言い伝えによると、この故白和尚は隠里寺の十二世でしたが、弟子との間にもめごとがあったそうで、本尊と十六戸の檀家を引き連れお寺を出て、稱名寺を建立したそうです。

本堂を目指して参道を上ると、山門の左には青々とした竹林、山門の右奥には大きなカヤの木が見えてきます。一七八八年の江戸時代中期に寺が火災に遭った際、本尊がこのカヤの枝に引っかかって助かったという伝説があり、ますます信仰を集めたそうです。

本堂の中心に安置される高さ八十センチのこの本尊は、木造阿弥陀如来立像と言い、町の文化財に指定されています。きらびやかな周囲の装飾とは対照的に真っ黒な姿をしており、黒仏様とか黒本尊と呼ばれています。

山門をくぐり境内に入るとすぐ左手に大きな自然石に「筆塚」の文字が刻まれた石碑があります。よく見ると「羽生先生」とも刻まれており、調べてみると、この羽生先生は、有力檀家寺田家の出身で、寺子屋を開いた人だそうです。名前は羽生利兵衛と言って、明治初期に学制が制定されて、寺子屋が片寄小学校の仮校舎となったときも、そのまま先生を続けたそうです。

同寺では、大正九年に長野県の善光寺一一九世法主尼宮様を招いて、仏門に入る人に戒律を授ける授戒会を開催しました。地方には出掛けない尼宮様を迎えたことが当時大反響を呼んで新聞でも報じられたそうです。

筆の供養碑「筆塚」を案内する嶋田さん

イチョウが彩る晩秋の稱名寺

町指定文化財の「木造阿弥陀如来立像」

伝説が残る大きなカヤの古木